

<p>科目名：小児保健</p>	<p>必</p>	<p>1 単位</p>
<p>(Child Health)</p> <p>履修年次/時期：3年次 前期 授業形態：講義・演習</p> <p>担当教員：西村 康 (実務経験有)</p>		
<p>学修目的</p>	<p>小児保健は健康を守るだけでなく、健康を増進する積極的な活動であり、それは正常な日常生活の中から生まれ、実践されるものです。</p> <p>子どもの心身の問題だけでなく、栄養、生活、母子関係、環境、社会の制度や施策などにも関係し、母体の健康や生活にも関連があります。さらには、周囲に存在する障害を取り除き、傷病を防ぐことも重要な事柄です。子どもの人生は遠い未来へつながり、子どもは将来の社会を作ります。そのため、子どもは健康なからだと健全な心をもって発育していかなければなりません。</p> <p>医療人となる皆さんには、そのことをぜひ理解してもらいたいと願っております。</p> <p>D P (2)-(3),(3)-(2) ((3)、C P (2),(4)に関連する。 科目 No. S3B07H04</p>	
<p>到達目標</p>	<p>①小児の心身の成長発育を理解する。</p> <p>②小児疾患と歯科診療の関係を理解する。</p> <p>③母子保健を理解する。</p> <p>④学校保健を理解する。</p> <p>⑤感染症を理解する。</p> <p>⑥小児虐待を理解する。</p> <p>⑦障害児および有病児の歯科診療に必要な知識を理解する。</p> <p>⑧小児保健における予防接種の意義を理解する。</p>	
<p>授業概要</p>	<p>本講座では、ヒトのライフサイクルと健康を考えることにより、子どもの位置づけと子どもの発達を正確に理解することを目的としている。小児保健には人生の開始時期における一生の生活と健康の基礎作りを支援するという側面があり、歯科衛生士という医療専門職として、地域社会における子育て支援活動に参画し、対象者に共感し、共に考えられる基礎知識の獲得を目指す。なお、今年度も講義は数回とし、他の時間は各グループによるテーマ発表とそのディスカッションを実施します。積極的に参加下さい。なお、本講義の内容が広範囲に及びますので、各授業の最初に前回の確認テストを実施しますので、それを参考に項目毎によくまとめておいて下さい。</p>	
<p>評価方法</p>	<p>発表とレポート (30%)、筆記試験 (70%) 試験に対するフィードバックは掲示で行う。</p>	
<p>予習・ 復習時間</p>	<p>【予習】0.5時間</p> <p>【復習】0.5時間</p>	
<p>教科書</p>	<p>歯科国試パーフェクトマスター 小児歯科学 第4版 河上智美編著 医歯薬出版</p>	
<p>参考書</p>	<p>新世紀の小児保健 (改訂2版) 衛藤 隆他編 日本小児医事出版社</p> <p>日本人の育児 五十嵐勝朗著 金原出版</p> <p>母子保健学 海野信也、渡辺 博著 診断と治療社</p> <p>小児科 診断・治療指針 第2版 遠藤文夫総編集 中山書店</p> <p>子どもの保健 第4版 巻野悟郎編 診断と治療社</p>	
<p>オフィス- 連絡先</p>	<p>月、水、金 12:00~13:20 4号館2階 西村研究室 nisimura@kdu.ac.jp</p> <p>*不在時はメールでお願いします。</p>	